

学習・教育目標		学習・教育目標とJABEE基準1.2との対応関係									
		(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養	(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解	(c) 数学及び自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを活用する能力	(d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力	(e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力	(f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等コミュニケーション能力	(g) 自主的、継続的に学習する能力	(h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力	(i) チームで仕事をするための能力	
基準1.2の知識・能力		電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野の学士課程プログラムに関する分野別要件									
		(1)コンピュータ、ソフトウェア、情報等に関する工学教育プログラム： ・論理回路、情報理論、データ構造などの知識 ・上記の知識を組み合わせた応用能力 プログラムの学習・教育到達目標の達成に向けた学習・教育内容に含まれる工学的な機能及び概念を組み合わせた複雑なシステムに関する知識 プログラムの学習・教育到達目標の達成に向けた学習・教育内容に含まれる工学的な機能および概念に関する実験・遂行し、データを正確に取得・解析し、工学的に考察する能力 プログラムの学習・教育到達目標の達成に向けた学習・教育内容に含まれる工学的な機能および概念を他者に正確に説明する能力									
(A)	国際的な視野と倫理観に基づく価値判断ができる電子情報システム技術者 (a,b)	(A1) 文化や歴史を踏まえ国際社会で生じる様々な現象について総合的に把握することができる (a)	◎								
		(A2) 社会や環境に与える影響を考慮し経済的・倫理的な視点から考えることができる (b)		◎							
(B)	ソフトウェア・ハードウェア・ネットワークのアーキテクチャ技術を身につけ、高度な情報化社会に貢献できる電子情報システム技術者 (c, d)	(B1) 工学分野における諸現象のしくみを数学的・物理的に理解できる (c)			◎						
		(B2) 電気・電子分野及び通信分野について理論的に説明できる (c)			◎						
		(B3) 情報分野について理論的に説明できる (c)			◎						
		(B4) 複合分野にわたる知識を身につけ有機的に結び付けることができる (d)				◎					
		(B5) 電気・電子分野及び情報分野のハードウェア・ソフトウェア実験・実習を通して、工学的に考察し活用することができる (e)					◎				
(C)	ものづくりを通して、知能システムやユビキタス環境を設計・構築・提案できる電子情報システム技術者 (e, f, g, h, i)	(C1) 日本語・外国語により書かれた文章を理解し、文章や口頭発表により表現することができる (f)						◎			
		(C2) 共通の制約条件の中、個人またはチームで計画的にPJを進め、創造的なシステムを実現し表現することができる (e, h, i)					◎			◎	◎
		(C3) 新しいシステム・概念を創生し、表現することができる (f, g)						◎	◎		